

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	理事長 竹生 正人	法人・事業所の特徴	県民せいきょうの事業は組合員・利用者のための事業です。私たちは生協人として利用者の満足向上のために常に利用者の立場で考え、誠実に行動します。事業所では、生協福祉の理念「あなたらしきいつまでも」を実現するために、10の基本ケアを実践・推進し、利用者ができる限り自分の力を発揮しながら自分らしく生活できるように応援していきます。そのために、本人と家族の思いに沿えるよう交流を深め、信頼関係の構築に努めます。また、地域社会からも信頼される事業所を目指し、地域とのつながりを大切にします。
事業所名	小規模多機能ホーム 敦賀きらめきハウス	管理者	服部 眞二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前年度の計画(アセスメントとその理解及び職員の共通認識を第一に考え、本人、家族の思いを受け止められるように努め、信頼関係を築いていくようにする)を継続(再確認)する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアコラボ (ICTによる介護記録) の申し送りやミーティングによって、最新の情報を共有することができた。 ・利用者や家族とゆとりのある関りができず、思いを把握することが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個別に、自己評価のそれぞれの意味を説明しチェックしてもらおう方が正確な評価になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフには自己評価の意味の説明を事前に実施する。 前年度の計画(アセスメントとその理解及び職員の共通認識を第一に考え、本人、家族の思いを受け止められるように努め、信頼関係を築いていくようにする)を継続(再確認)する。
B. 事業所のしつらえ・環境	交通安全学習会など、地域の方に参加してもらえるような機会を設け、広報していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアさんの受け入れを中止した状況であり、地域の方などに気軽に事業所を見ていただくことはできなかった。感染予防のため、事業所内や送迎車等の消毒、換気を徹底して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入りやすいし居心地は良いと思う(利用者)。 ・玄関のカギはかかっているものだと思ってチャイムを鳴らしていたが、説明を聞いて、日中は開いていることが分かった。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、(地域の方に参加してもらえるような)機会を設けることは困難だったと思う。 ・事業所を訪問することが無かったので分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いているのであれば、令和元年度のように家族会などの催しを開催し、ご家族や地域の方にも事業所に入りやすい機会を設けたい。
C. 事業所と地域のかかわり	秋の文化祭以外にも老人会での集まり等利用者が参加できることを探し参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月の運営推進会議は書面にて行った。 ・新型コロナウイルス感染症予防のため、毎年文化祭には参加したが、その他の催し等があっても、参加することは控えた。 ・毎年行なっている、粟野南小学校1年生への交通安全カード、雑巾で作ったケーキの贈呈はデイサービスの利用者様と一緒に訪問して行った。 ・敦賀きらめきとして「介護やすらぎカフェ」を受託して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今はしばらくの間、かかわりをもつことは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の収束するまでは感染予防に徹し、その後も予防を継続しながらも参加できることや事業所で開催できることを考えて地域にお知らせしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	一人でも、利用者がその人の住んでいる地域の行事に参加できるように検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・その人の地域においても、新型コロナウイルス感染症予防の観点から行事等に参加することは控えたが、行事そのものも開催されないことが多かった。 ・地域に出ることは控えたが、天候が良ければドライブに出かけ、外出によって気分転換が図れるように努めて利用者も大変喜ばれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域においても、行事は中止されることが多かった。 ・（民生委員様より）粟野地区で行われる行事にお誘いした。行事は日曜日でバスの送迎があることもお伝えしたが足が悪いのでと断わりがあった。なかなか慣れない環境に行くことは抵抗があるのだと感じた。 	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて、利用者が、その人の住んでいる地域での行事が開催された時には、参加できるように支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	前年度の計画(運営推進会議にて、地域での高齢者の困りごとを把握し事業所内でも情報を共有しておく。相談が必要な事例は会議にて対応を検討する。)を継続。	<ul style="list-style-type: none"> ・全て書面開催となったこともあり、地域での困りごとは具体的には出て来なかった。民生委員さんの訪問時の対応での困りごとについては、事業所でも対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は全て書面による開催となったため、具体的な取り組みはできなかった。 	前年度の計画(運営推進会議にて、地域での高齢者の困りごとを把握し事業所内でも情報を共有しておく。相談が必要な事例は会議にて対応を検討する。)を継続する。
F. 事業所の防災・災害対策	火災以外の自然災害や不審者への対策等についても検討していく。また、交通災害(事故)については地域の方への周知を行って学習会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全学習会は、実施できなかった。 ・防災訓練については、火災予防についての訓練は行なったが、それ以外もの行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は現在行っていない。 ・災害対策について、水害発生時の避難確保計画を作成し、同計画に基づいた避難訓練を定期的実施すること(長寿健康課)。 	防災訓練に関して、火災に加え、水害の訓練も実施していく。また、不審者対策の訓練も実施していく。